

i・Card type P2

ユーザーズマニュアル 通信編

WindowsMe/98/95でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークの確認	1
ネットワーク構成ファイルをインストールする	3
ダイヤルアップネットワークをインストールする	7
ダイヤルアップネットワークを登録する	10
接続方法	16

Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続するためには	18
------------------------	----

WindowsCEでインターネットに接続する

インターネットに接続するためには	28
------------------------	----

Macintoshでインターネットに接続する

インターネット接続の準備	30
ご使用OSの確認	30
Mac OS 8 以降でご使用の場合	31
漢字Talk 7.5.2~7.6.1 でご使用の場合	36

トラブル対処法

トラブル対処法	42
---------------	----

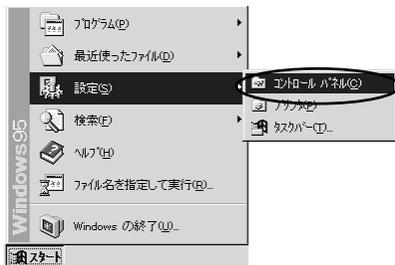
正しく安全にお使いいただくために、ご利用の
前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

WindowsMe/98/95でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークの確認

WindowsMe/98/95に必要なソフトがインストールされていることを確認します。
以下の手順でおこなってください。

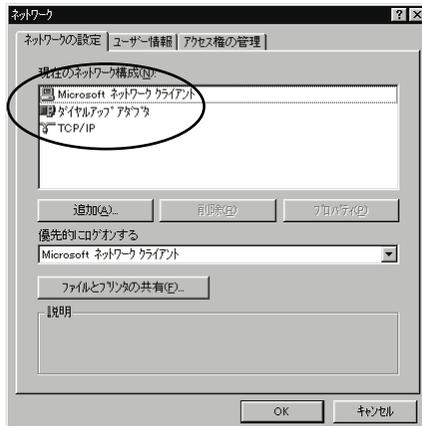
- 1 「スタートボタン」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。



- 2 「コントロールパネル」が開きます。「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 3 「ネットワーク」設定画面が開きます。「現在のネットワーク構成」で「Microsoftネットワーククライアント」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」がインストールされていることを確認してください。



- 4 すべてインストールされている場合は7ページの「ダイヤルアップネットワークをインストールする」に進んでください。インストールされていないファイルがある場合は、この画面から次ページの説明を参照してインストールしてください。

ネットワーク構成ファイルをインストールする

Microsoftネットワーククライアントをインストールする

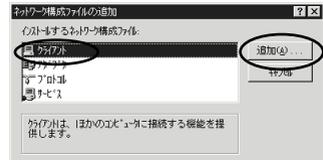
「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされている場合は、次ページ「ダイヤルアップアダプタをインストールする」に進んでください。



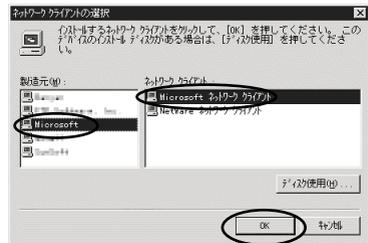
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



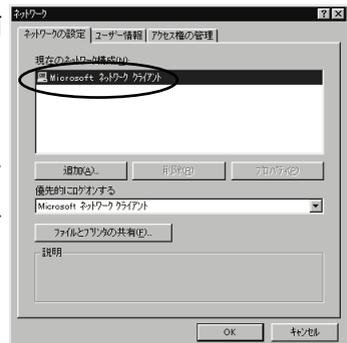
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「クライアント」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワーククライアントの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワーククライアント」から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



ダイヤルアップアダプタをインストールする

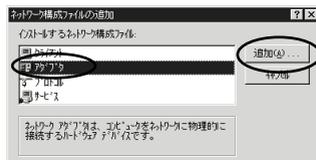
「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされている場合は、次ページ「TCP/IPをインストールする」に進んでください。



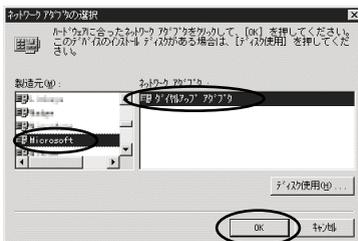
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



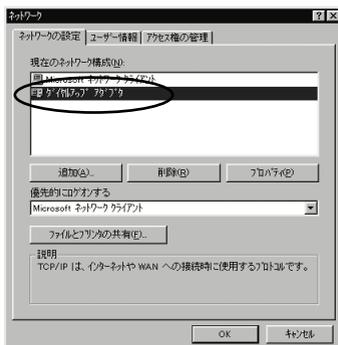
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「アダプタ」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークアダプタの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



TCP/IPをインストールする

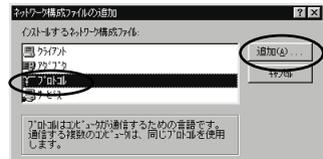
「TCP/IP」がインストールされている場合は、次ページ「新しいネットワーク設定を有効にする」に進んでください。



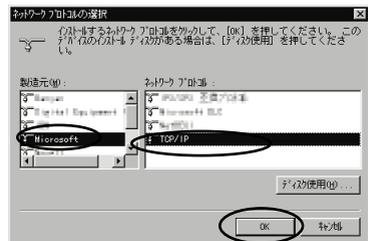
- 1 「ネットワーク」設定画面で「追加」ボタンをクリックしてください。



- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「プロトコル」を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークプロトコル」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

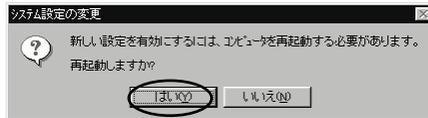


- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「TCP/IP」が表示されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。



新しいネットワーク設定を有効にする

「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか？」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



WindowsMe/95/98でインターネットに接続する

ダイヤルアップネットワークをインストールする

WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」の中に「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンがあることを確認してください。Windows98/95の場合は「マイコンピュータ」の中に「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンがあることを確認してください。「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンを確認できればすでにインストールされている状態です。10ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。



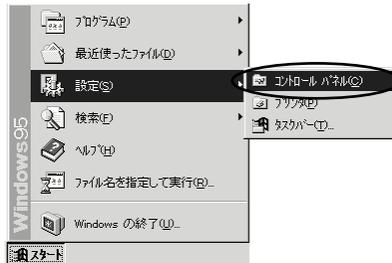
(Windows98/95)



(WindowsMe)

「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが存在しない場合は、以下の手順で「ダイヤルアップネットワーク」のインストールをおこなってください。

- 1 「スタートボタン」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。



- 2 コントロールパネルが開きます。「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。



- 3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が開きます。「Windowsファイル」タブをクリックしてください。



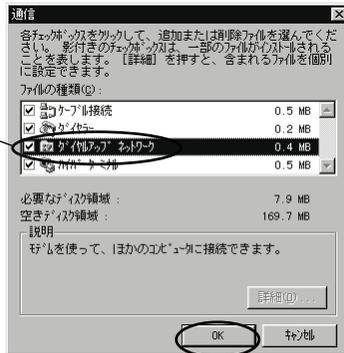
- 4 「Windowsファイル」のページが最前面に出ます。「ファイルの種類」から「通信」にチェックを付けて、「詳細」ボタンをクリックしてください。

「通信」にすでにチェックが付いている場合は、チェックボックスをクリックしないでください。チェックマークが消されたまま「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了すると、「通信」が削除されます。



- 5 「通信」画面が開きます。「ダイヤルアップネットワーク」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックしてください。

チェックボックスをクリックせず単に「ダイヤルアップネットワーク」を選択しただけだったり、チェックボックスを2回クリックしたりした場合は、チェックボックスにはチェックマークは付きません。必ず「ダイヤルアップネットワーク」チェックボックスにチェックが付いていることを確認してください。

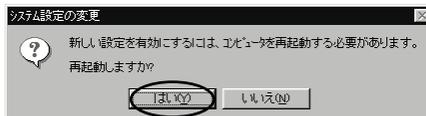


- 6 「ファイルのコピー」ダイアログが開き、ダイヤルアップネットワークのインストールが開始されます。

WindowsMe/98/95のマスタディスクが必要な場合があります。各種設定を問い合わせてきますので、情報を入力してください。



- 7 終了すると、「システム設定が変更されました」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8 「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ「はい」をクリックしてください。



ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

プロバイダの登録

- 1 WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。Windows98/95の場合は「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。

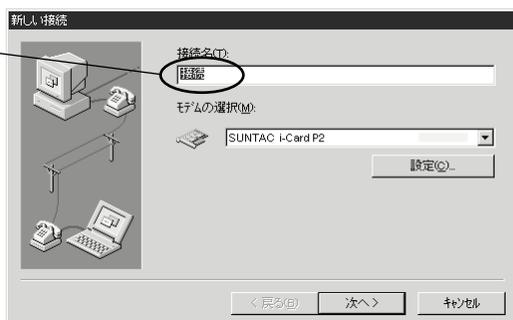


- 2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。

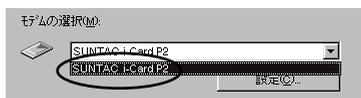


- 3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。



- 4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「SUNTAC i-Card P2」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。



- 5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。



- 6 「市外局番」は空欄にしておいてください。



- 7 「電話番号」に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する #nnを加えてください。

PIAFS64K接続の場合： (相手先の電話番号) # 64

PIAFS32K接続の場合： (相手先の電話番号) # 32

9600bpsデータ通信の場合： (相手先の電話番号) # 9600
ただし、PTE経由で接続する場合は、以下のように設定してください。

PIAFS64K対応

PTE経由の場合：(PTEの電話番号)# 641 *(相手先の電話番号)

PIAFS32K対応

PTE経由の場合：(PTEの電話番号)# 321 *(相手先の電話番号)

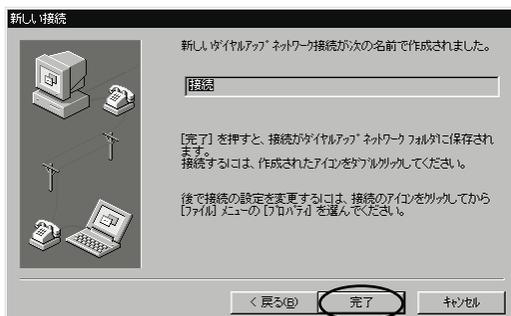
電話番号(U):

- 8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本(81)」を選択してください。

国番号(U):

- 日本 (81)
- 日本 (81)
- 仏領アヂバシ諸島 (590)
- 仏領キアオ (594)
- 仏領ポリネシア (689)
- 米国 (1)
- 米国領ワージン諸島 (1)

- 9 「次へ」ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。



- 10 「完了」ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

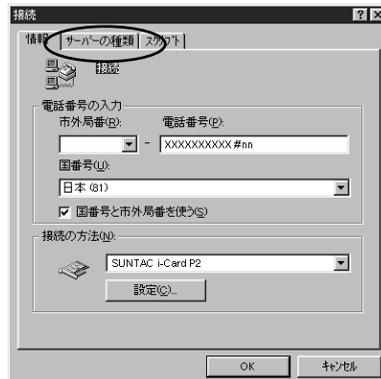
プロバイダの設定

登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

- 1 新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。



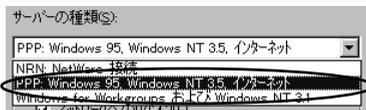
- 3 接続先の情報設定画面が開きます。「サーバーの種類」タブまたは「ネットワーク」タブをクリックしてください。



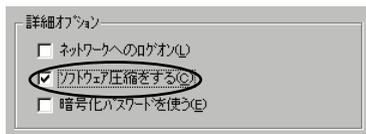
- 4 「サーバーの種類」または「ネットワーク」の設定画面が表示されます。



- 5 「サーバーの種類」プルダウンメニューの中から WindowsMeでお使いの場合は 「PPP:インターネット、Windows2000/NT,WindowsMe」を、 Windows98でお使いの場合は 「PPP:インターネット、WindowsNT Server、Windows98」を、 Windows95でお使いの場合は 「PPP:Windows95,WindowsNT3.5,インターネット」を選択してください。



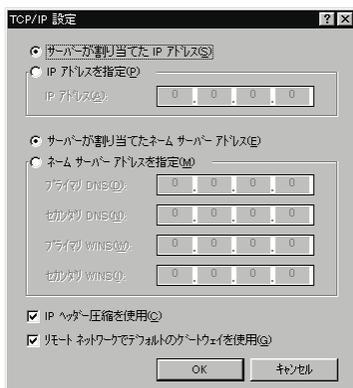
- 6 「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。



- 7 「使用できるネットワークプロトコル」の中から 「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。



- 8 「TCP/IP設定」ボタンをクリックしてください。
「TCP/IP設定」画面が表示されます。



- 9 IPアドレスは、「サーバーが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。



- 10 ネームサーバアドレスは、「ネームサーバアドレスを指定」にチェックを付けてください。



- 11 「プライマリDNS」入力欄にプロバイダから通知されたネームサーバ（DNS）のIPアドレスを入力してください。



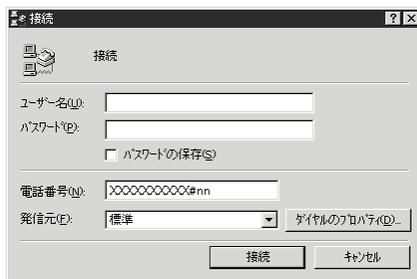
- 12 「OK」ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。
ここで登録した接続のアイコンができています。

以上で、ダイヤルアップネットワークのインストールは完了です。

- 1 先程の設定で作成したアイコン(接続など)をダブルクリックしてください。



- 2 接続先のダイアログボックスが表示されます。



- 3 「ユーザー名」に接続先のプロバイダーの接続アカウント(ログイン名)を入力してください。



- 4 「パスワード」に接続先のプロバイダーのパスワードを入力してください。



- 5 「接続」ボタンをクリックしてください。接続が開始されます。

- 6 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。



参考

ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。

切断

回線を切断する場合はタスクバーのアイコンをダブルクリックします。



表示された画面の「切断」ボタンをクリックしてください。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

Windows2000でインターネットに接続する

インターネットに接続するためには

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

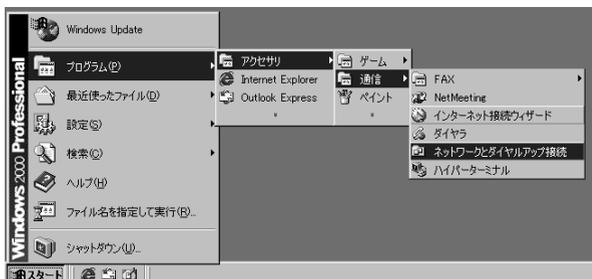
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

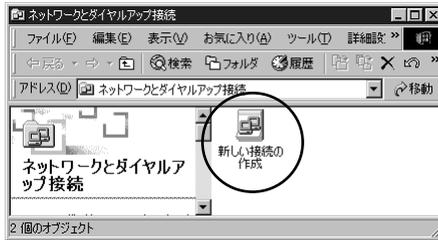
プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

ダイヤルアップ接続の作成

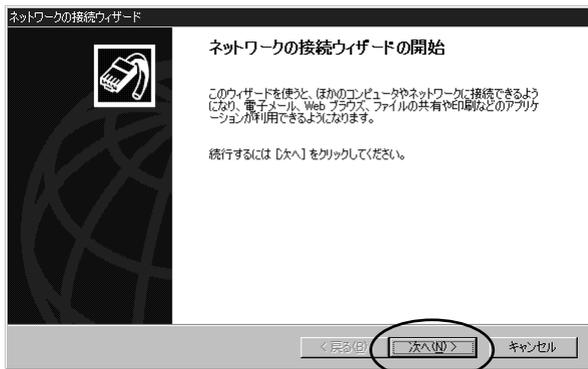
- 1 「スタートボタン」-「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



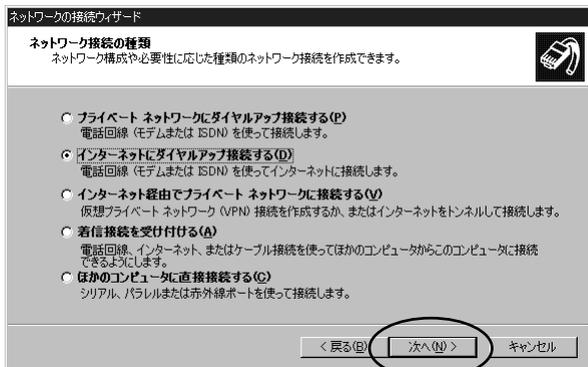
2 「新しい接続の作成」をダブルクリックしてください。



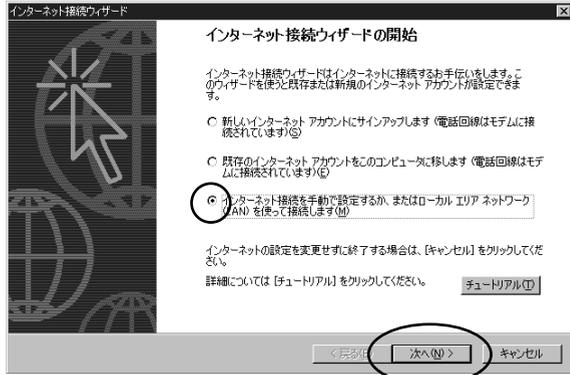
3 「ネットワークの接続ウィザード」が開始されます。「次へ」をクリックしてください。



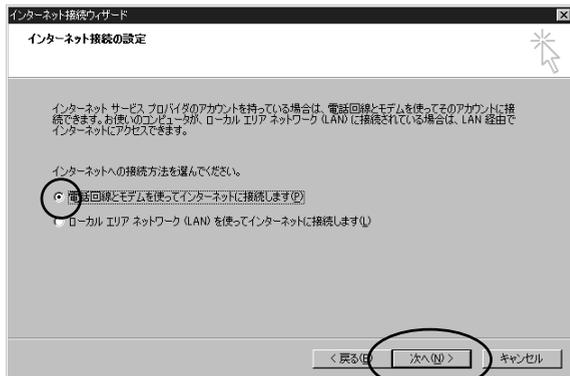
4 「インターネットにダイヤルアップする」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。



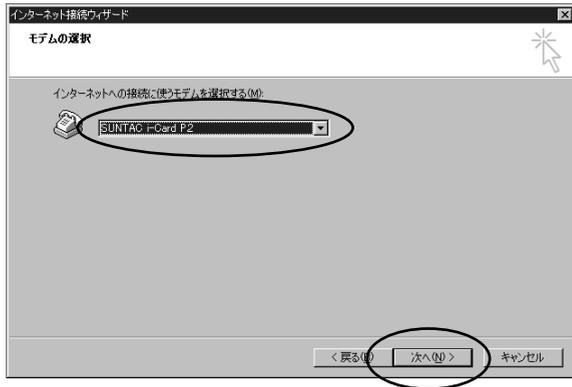
- 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



- 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」にチェックの上、「次へ」をクリックしてください。



7 モデムの選択で「SUNTAC i-Card P2」を選択します。



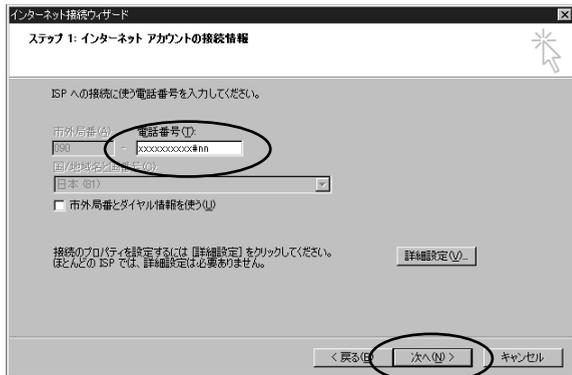
8 「電話番号」に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する#nnを加えてください。

PIAFS64K接続の場合： （相手先の電話番号）# 64

PIAFS32K接続の場合： （相手先の電話番号）# 32

9600bpsデータ通信の場合： （相手先の電話番号）# 9600

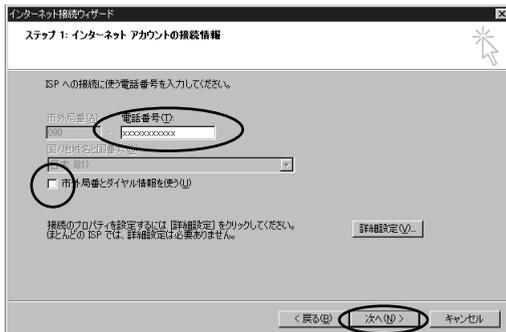
ただし、PTE経由で64kPIAFSの通信を行う場合は、次ページ8-Aを参照してください。



PHS・携帯電話の電話機の場合、市外局番から設定した方が望ましいため「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックをはずして、電話番号の欄に市外局番から入力してください。

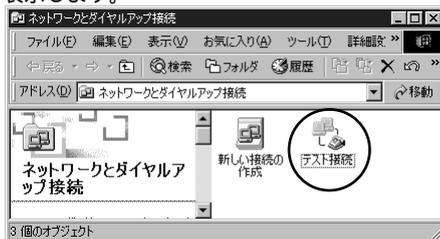
P23の9に続く

- 8-A PTE経由で64kPIAFS通信を行う場合は、接続先の電話番号を電話番号の欄に市外局番から入力してください。「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外してください。



その後は、9～12の設定をマニュアルに従って行ってください。
ただし、P24の12の設定が終わった後、以下の設定を行ってください。

P24の12の設定が終わった後、できあがったアイコンをクリックし、「ファイル」-「プロパティ」をクリックしてプロパティを表示します。

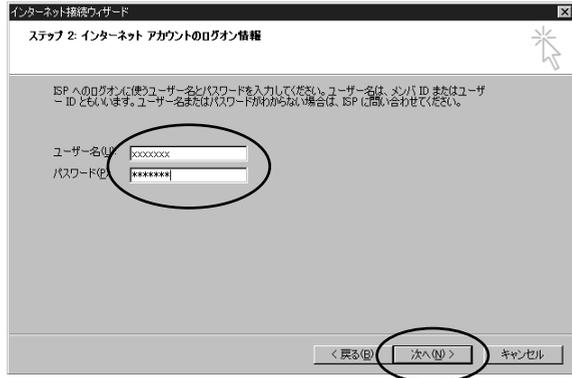


表示されたプロパティの電話番号の欄に入力されている電話番号の前にPIAFS64k対応PTE経由の場合は「(PTEの電話番号) #641 *」、PIAFS32k対応のPTE経由の場合は「(PTEの電話番号) #321 *」をつけ加え、電話番号欄を修正します。

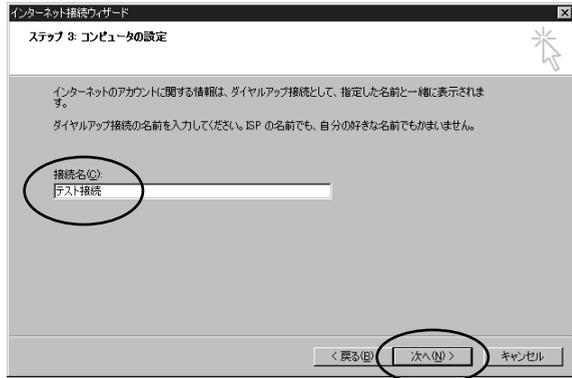


修正が終わったら「OK」を押してください。

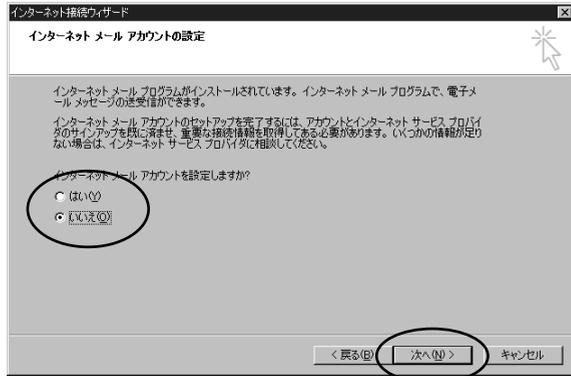
- 9 ユーザ名称、パスワードを入力し、「次へ」をクリックしてください。



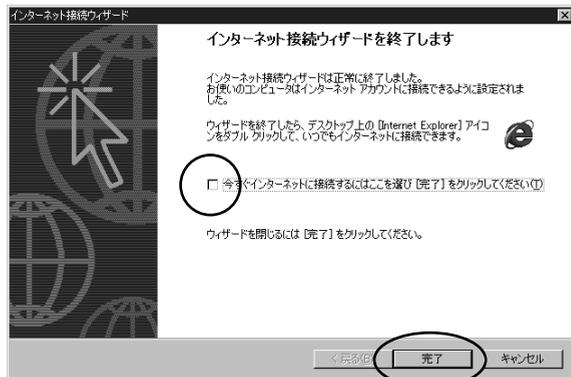
- 10 接続名を記入して、「次へ」をクリックしてください。
接続名は契約プロバイダ名など判りやすいものが良いです。



- 11 「メールアカウント」を設定する必要がある場合、上記画面で「はい」をクリックした上で、「次へ」をクリックして、メールアカウントの設定を行ってください。本例では、メールアカウントの設定は省略します。



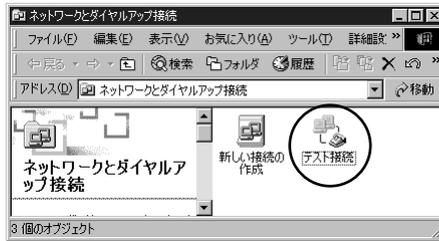
- 12 「今すぐ・・・」のチェックをはずした上で、「完了」をクリックして、ウィザードを終了します。



以上でダイヤルアップ接続の作成は完了です。

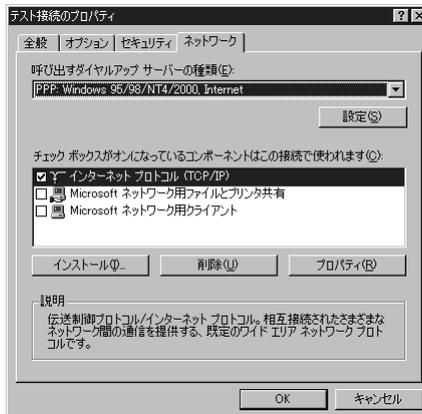
接続方法

- 1 ダイアルアップ接続の作成で作成したアイコンをクリックし、「ファイル」 - 「プロパティ」をクリックして、プロパティを表示します。



- 2 プロパティの中で、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、「OK」をクリックしてプロパティを閉じてください。（一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。）

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。



- 3 プロパティの設定が完了したら、アイコンをダブルクリックして接続画面を表示してください。「ダイヤル」をクリックすると、接続が開始されます。

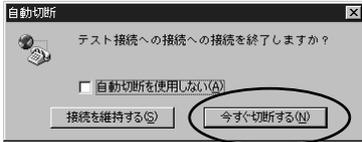


- 4 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。

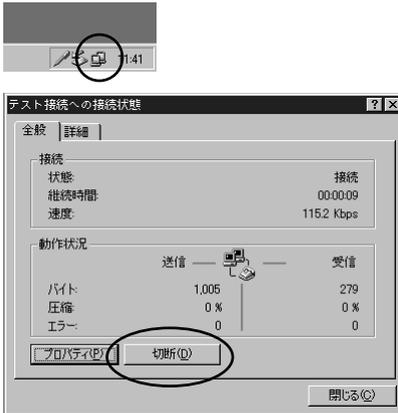


切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は「今すぐ切断する」をクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して「切断」ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

WindowsCEでインターネットに接続する

インターネットに接続するためには

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

プロバイダーに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、WindowsCE機付属の「ハンドヘルドPCユーザズガイド」のリモートコンピュータの接続、インターネットのブラウズの項目を参照してダイヤルアップ接続の設定、Pocket Internet Explorerのセットアップをおこなってください。

ダイヤルアップ設定時に [モデムの選択(M)] のボックスから [SUNTAC i-Card_P2] を選択します。

また、ダイアログボックスにアクセスポイントの電話番号を入力するときには、「市外局番」の欄は空欄にし、「電話番号」の欄に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号（例：XXX-XXX-XXXX）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する#nnを加えてください。

- PIAFS64K接続の場合： （相手先の電話番号）# 64
PIAFS32K接続の場合： （相手先の電話番号）# 32
9600bpsデータ通信の場合： （相手先の電話番号）# 9600

ただし、PTE経由で接続する場合は、以下のように設定してください。

- PIAFS64K対応
PTE経由の場合：（PTEの電話番号）# 641 *（相手先の電話番号）
PIAFS32K対応
PTE経由の場合：（PTEの電話番号）# 321 *（相手先の電話番号）

[国番号と市外局番を使用する] チェックボックスのチェックをはずしてください。

? うまくいかないときは...

接続できない場合

電話番号の末尾に通信方式が正しく設定されているか確認してください。

接続プロバイダーのDNS（ネームサーバー）のIPアドレスの設定が正しいことを確認してください。

接続アクセスポイントの電話番号の設定が正しいことを確認してください。

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

何度でも「相手先は通話中です」と表示される場合

「ファイル」-「プロパティ」-「通信」タブ-「ダイヤルのプロパティ」-「ダイヤル設定」タブの設定を確認してください。発信元を「自宅」、ダイヤルパターンの市外通話を「市外通話：[市外局番][電話番号]」に編集してください。

また、電話回線の設定の市外局番が接続先の市外局番と同じ場合は、電話回線の設定の市外局番を任意の他番（例：999など）に変更してください。

Macintoshでインターネットに接続する

インターネット接続の準備

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダー（以下、プロバイダー）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダーに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダーに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

ご使用OSの確認

インターネットに接続するためのソフトウェア等の設定を行う場合に、ご使用のOSにより設定方法が異なります。

ご使用のOSをご確認の上、設定を行ってください。

Mac OS 8 以降でご使用の場合は、31ページ以降を参照してください。

漢字Talk7.5.2～7.6.1でご使用の場合は、36ページ以降を参照してください。

Mac OS 8 以降でご使用の場合

必要なソフトウェア

Mac OS 8 以降のOSでご使用のMacintoshを使用してインターネットに接続するためには、TCP/IPプロトコルスタックと、PPPドライバとして以下のソフトウェアが必要です。



TCP/IPプロトコルスタックとしては、漢字Talk7.5.3以降に標準添付されているTCP/IPを使用することができます。



PPPドライバとしては、Mac OS 8 以降に標準添付されているリモートアクセス又はOpen Transport/PPPを利用できます。
リモートアクセスのかわりにFreePPPを利用することもできます。
FreePPPを利用する場合は、38ページを参照してください。

その他、WWWブラウザやメールソフト等のご使用になりたいアプリケーションをインターネット関連の雑誌やBBSから入手してください。

CCLファイルのインストール

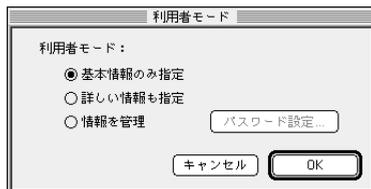
リモートアクセスを利用するためには、「ユーザーズマニュアル準備編」P21からをお読みになり、CCLファイルのインストールを行ってください。

TCP/IPの設定

- 1 システムフォルダ(あるいはアップルメニュー)の中のコントロールパネルの中にTCP/IPがあります。ダブルクリックして起動します。



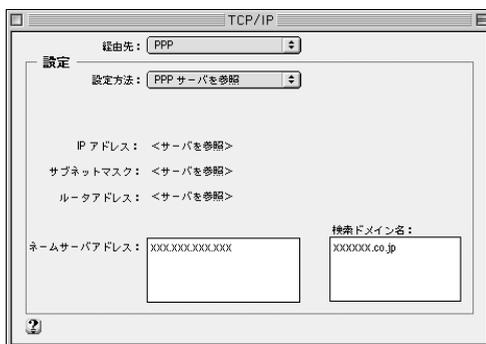
- 2 「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。



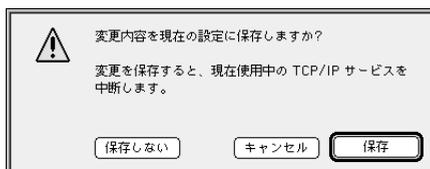
- 3 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

PPPが表示されない場合は、システムフォルダの機能拡張の中にPPPドライバが入っていることを確認してください。

- 4 「経由先」メニューから「PPP」を選択します。



- 5 「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。
- 6 「ネームサーバーアドレス」を入力します。
- 7 「検索ドメイン名」を入力します。
- 8 TCP/IPを閉じてください。
- 9 以下のメッセージが表示されます。「保存」ボタンをクリックします。



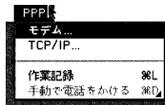
リモートアクセスの設定

リモートアクセスのかわりにFreePPPを利用することもできます。FreePPPを利用する場合は、38ページのFreePPPの説明を参照してください。

- 1 システムフォルダの中のコントロールパネルの中にリモートアクセスがあります。ダブルクリックして起動します。



- 2 ウィンドウメニューの「PPP」から「モデム」を選びます。



- 3 「経由先」からこの製品 (i-Card_P2) を選択します。



- 4 「モデム」から PHSで通信を行う場合は「SUNTAC i-Card P2 (PHS)」
携帯電話で通信を行う場合は「SUNTAC i-Card P2 (PDC)」
を選択します。
- 5 「ダイヤル」から「トーン」を選択します。
「ダイヤルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外します。
- 6 「モデム」設定画面を閉じます。

7 「ユーザID」を入力します。

経由先: モデム

接続

登録利用者 ゲスト

ユーザID: XXXXXXXXXXXX

パスワード:

パスワードを保存

電話番号: XXXXXXXXXXX#nn

状況

待機しています。

オプション... 接続

8 「パスワード」を入力します。

9 「電話番号」を入力します。

接続先の電話番号に合わせて電話番号を入力する必要があります。接続先の電話番号を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する #nn を加えてください。

PIAFS64K接続の場合: (相手先の電話番号) # 64

PIAFS32K接続の場合: (相手先の電話番号) # 32

9600bpsデータ通信の場合: (相手先の電話番号) # 9600

ただし、PTE経由で接続する場合は、以下のように設定してください。

PIAFS64K対応

PTE経由の場合:(PTEの電話番号)# 641 *(相手先の電話番号)

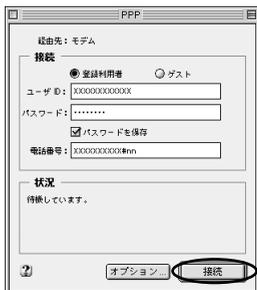
PIAFS32K対応

PTE経由の場合:(PTEの電話番号)# 321 *(相手先の電話番号)

10 「リモートアクセス」を閉じます。

接続

- 1 リモートアクセスを開きます。



- 2 「接続」ボタンをクリックします。接続が始まります。プロバイダーに接続されると「状況」に「接続が確定しました」と表示されます。

以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。

- 3 回線切断は、「解除」をクリックします。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

漢字Talk 7.5.2～7.6.1 でご使用の場合

必要なソフトウェア

漢字TALK7.5.2～7.6.1のOSでご使用のMacintoshを使用してインターネットに接続するためには、TCP/IPプロトコルスタックと、PPPドライバとして以下のソフトウェアが必要です。



FreePPP Setup

PPPドライバとしては、Free PPPを入手して、インストールしてください。



TCP/IP

TCP/IPプロトコルスタックとしては、漢字Talk7.5.3以降に標準添付されているTCP/IPを使用することができます。万一お持ちでない場合はインターネット関連の雑誌やBBSから入手することができます。

その他、WWWブラウザやメールソフト等のご使用になりたいアプリケーションをインターネット関連の雑誌やBBSから入手してください。

漢字TALK7.5.2でご利用の場合

ご使用のOSをいったん漢字TALK 7.5.3にアップグレードして、TCP/IPをインストールしてください。

漢字TALK7.5.3へアップグレードした機種をご利用の場合

以下の説明を参照してOpenTransportの設定をおこないます。

- 1 「Appleエクストラ」フォルダから「ネットワークソフト選択」をダブルクリックして起動してください。



ネットワークソフト選択

- 2 「OpenTransportを使用する」をチェックして、ご使用のMacintoshを再起動してください。



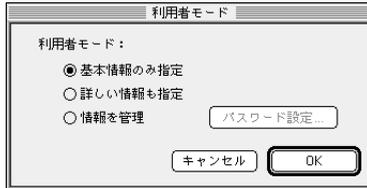
TCP/IPの設定

TCP/IPがない場合は、漢字TALK7.5.3以降のCD-ROM（ないしFD）からインストールしてください。

- 1 システムフォルダ(あるいはアップルメニュー)の中のコントロールパネルの中にTCP/IPがあります。ダブルクリックして起動してください。

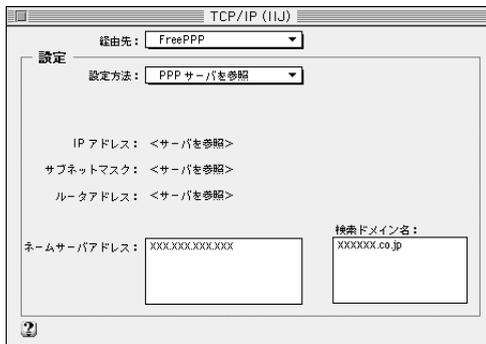


- 2 「編集」メニューから「利用者モード」を選択してください。



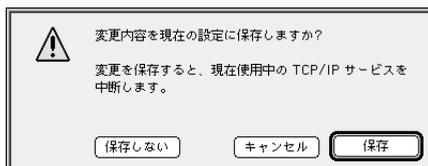
- 3 「基本情報のみ指定」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。
- 4 「経路先」メニューから「FreePPP」を選択してください。

FreePPPが表示されない場合は、システムフォルダの機能拡張の中にPPPドライバが入っていることを確認してください。



- 5 「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択してください。
- 6 「ネームサーバーアドレス」を入力してください。
- 7 「検索ドメイン名」を入力してください。
- 8 TCP/IPを閉じてください。
- 9 以下のメッセージが表示されます。「保存」ボタンをクリックしてください。

契約したプロバイダーから指定されたドメインネームサーバー（DNS）のIPアドレスを設定します。



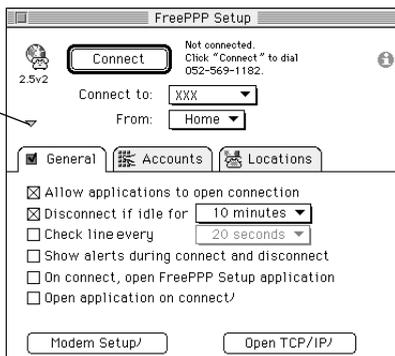
FreePPPの設定

- 1 メニューバー右上に表示されている電話のアイコンから「Open FreePPP Setup...」を選択してください。

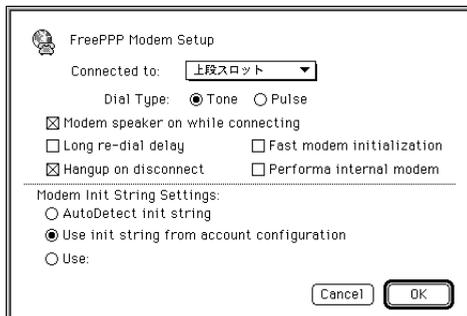


FreePPP Setup画面に右記のような設定メニューが表示されていない場合は、画面左下の三角形のアイコンをクリックすると設定メニューが現れます。

- 2 Free PPPを設定します。「Allow applications to open connection」をチェックしてください。

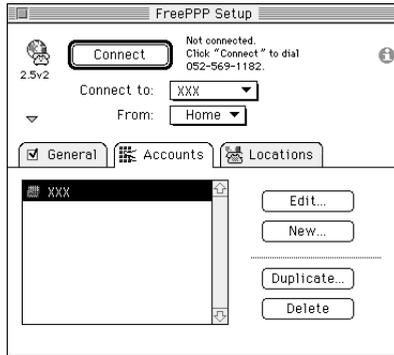


- 3 「Modem Setup」をクリックしてください。
- 4 「Connected to」のプルダウンメニューから本装置を接続しているポートを選択してください。

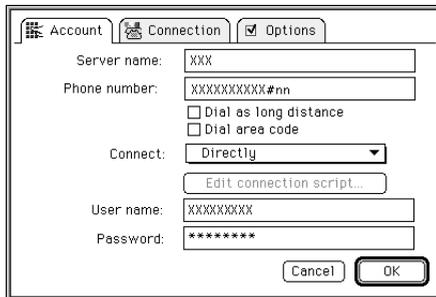


- 5 「Dial Type」の「Tone」をチェックしてください。
- 6 「Hangup on disconnect」をチェックしてください。

- 7 「Modem Init String Settings:」の「Use init string from account configuration」をチェックしてください。
- 8 「OK」ボタンをクリックしてください。
- 9 「Accounts」タブをクリックし、「NEW」ボタンをクリックしてください。



- 10 「Server name:」に適切な接続先の名前を設定してください。



- 11 「Phone number」に利用する通信方式に対応した接続先の電話番号（例：XXX-XXX-XXXX）を市外局番から入力し、電話番号の最後に通信方式を指定する #nnを加えてください。

PIAFS64K接続の場合：（相手先の電話番号）# 64

PIAFS32K接続の場合：（相手先の電話番号）# 32

9600bpsデータ通信の場合：（相手先の電話番号）# 9600
ただし、PTE経由で接続する場合は、以下のように設定してください。

PIAFS64K対応

PTE経由の場合：(PTEの電話番号)# 641 *(相手先の電話番号)

PIAFS32K対応

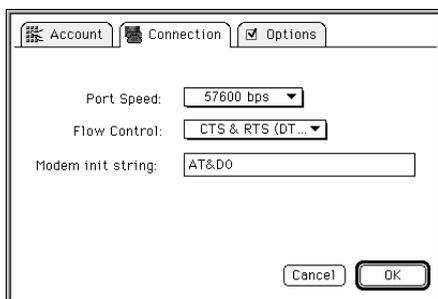
PTE経由の場合：(PTEの電話番号)# 321 *(相手先の電話番号)

- 12 「User name:」接続アカウント（ログイン名）を設定してください。

- 13 「Password」に接続パスワードを設定してください。

- 14 「OK」ボタンをクリックしてください。

- 15 「Connection」タブをクリックしてください。



- 16 「Port Speed」を「57600bps」に設定してください。
「Modem init string」に「AT&D0」と設定してください。

- 17 「OK」をクリックしてください。「FreePPPSetup」に戻ります。

- 18 FreePPPSetupを終了してください。

接続

- 1 メニューバー右上に表示されている電話のアイコンから「Open PPP Connection」を選択してください。



- 2 接続が始まると、「Connect」ボタンが「Disconnect」ボタンに変わり、左上の地球のアイコンが回転を開始します。

以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。

- 3 回線を切断する場合は、メニューバー右上に表示されている電話のアイコンから「Close PPP Connection」を選択してください。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

トラブル対処法

通信できない、あるいは本機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

PC98NXシリーズを使用していてインストール時、デバイスドライバウィザードで「完了」がクリックできない場合

PC98NXシリーズをベーシックモード又はキッズモードでご使用の場合は、「完了」ボタンがクリックできません。その場合は、「スタートボタン」-「プログラム」-「CyberTrio-NX」-「Go to アドバンスモード」を選択して、PC98NXをアドバンスモードで動作させた状態で再度設定を行なってください。

モデムのプロパティに「標準のPCMCIAカード」でセットアップされてしまった場合

モデムのプロパティで「標準のPCMCIAカード」を削除してください。
ソフトウェアCD-ROMの中の「mdmsunp.inf」ファイルを¥Windows¥INF（又は¥WINNT¥INF）にコピーしてパソコンを再起動した後、再度設定を行なってください。Windowsのフォルダ内にINFフォルダが見つからない場合は、「表示」-「オプション」メニューを選択し、「表示」タブ中のファイル表示の項目から「すべてのファイルを表示」を選択してください。「OK」をクリックすると、Windowsのフォルダ内にINFフォルダが表示されます。

本機器が認識できない場合

外付けマウスを使用していないことを確認してください。使用できるCOMポートの数には制限があるため、外付けマウスと同時に使用できない場合があります。使用している場合は、外してみてください。

ご使用のパソコンにあらかじめ他の内蔵モデムが組み込まれていないことを確認してください。組み込まれている場合は、内蔵モデムを無効にしてください。

ご使用のパソコンで赤外線通信（IrDA）ポートを使用していないことを確認してください。使用している場合は、赤外線通信ポートを無効にしてください。

パワーマネージメント機能を組み込んでいるパソコンでは、未使用時にPCカードをOFFにする設定の場合、本機器を認識しない場合があります。コントロールパネルの「パワーマネージメント」を開き、「画面のプロパティ」の「PCカードモデム」タブをクリックして、「未使用時にはPCカードモデムをオフにする」のチェックを外してください。

SUNTAC i-Card P2がcom1～com4以外で検出されて正常に動作しない場合

以下の手順でcom1～com4に再設定してください。

スタ - トメニュー - から [設定] - [コントロールパネル] - [システム] を選んでください。デバイスマネージャーのタブをクリックしポ - トをダブルクリックしてください。通信ポ - トを選択してプロパティをクリックしてください。「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックをつけて [OK] をクリックした後PCを再起動させてください。SUNTAC i-Card P2がcom1～com4のどれかに再設定されたことを確認してください。

SUNTAC i-Card P2がcom1～com4に設定されない場合は [コントロールパネル] - [モデム] でSUNTAC i-Card P2を削除してから再度PCを再起動させて再設定をしてください。SUNTAC i-Card P2がcom1～com4に設定されない場合は [コントロールパネル] - [モデム] でSUNTAC i-Card P2を削除してから再度PCを再起動させて再設定をしてください。

通信を行おうとした時「モデムが検出されませんでした」と表示される場合

本装置が奥まで正しく挿入されていることを確認してください。

ダイヤルアップなどの「接続方法」に「SUNTAC i-Card P2」が選択されているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

電話機がダイヤルしない場合又はダイヤルした後すぐ切断される場合

本機器が電話機と専用接続ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

電話機のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、電話機の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回までに制限されています。3分以上してからもう一度かけなおしてください。

電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

接続先が同一市外局番内でも市内局番からダイヤルしてください。

電話番号の末尾に通信方式が正しく設定されているか確認してください。相手先が通信中（通話中）の場合があります。しばらくしてから再度かけ直してください。

機器の通信方式と電話機が異っている場合、発信できない場合があります。
PHSでデータ通信を行う場合は「AT+WS46=26」、携帯電話でデータ通信を行う場合は「AT+WS46=20」を初期化コマンド等に追加してみてください。

64kPIAFSの通信だけができない

本機器の設定が「発信者番号通知する」になっていない可能性があります。
64kPIAFSでデータ通信を行う場合、本機器の設定は「発信者番号通知する(AT#SB1)」にしてください。

データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください
ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。

インターネットに接続できない場合

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。
接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。
正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。
市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。
電話番号の末尾に通信方式が正しく設定されているか確認してください。

通信が安定しない

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。電話機の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。
電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。
接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

自動着信できない場合

Sレジスタ0の値が0に設定されていないことを確認してください。0の場合は2などの値に変更してください。
機器の通信方式が電話機と異っている可能性があります。コマンドを入力して通信方式の設定を行ってください。PHSデータ通信で待受の場合は「AT+WS46=26」、携帯電話9600bpsデータ通信で待受の場合は「AT+WS46=20」を入力してください。